

総合計画後期基本計画 施策の柱変更対照表

前期基本計画

施策の大綱	施策の柱	施策の柱	ありたい姿
1. ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち <子育て・教育・健康・文化>	1-1	安心して子どもを産み育てられる環境づくり	子育て世代の負担軽減と不安解消が図られ、安心して子どもを産み育てられる環境が整っています。
	1-2	次代を担う子どもの教育の推進	多様な人々と関わりながら主体的に考え、未来を切り拓く児童生徒が育っています
	1-3	ライフステージに合わせた生涯学習の充実	世代に応じた学習機会の提供により、自ら学習し活躍する市民が増えています
	1-4	こころとからだの健康づくりの推進	市民が自身の健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりを実践しています
	1-5	スポーツ・歴史・文化・芸術に親しむ環境づくり	市民一人ひとりがスポーツ・歴史・文化・芸術に親しんでいます
	1-6	多様性を尊重した共生社会の形成	自らの意思によって多様なライフスタイルが選択でき、市民が活躍しています
2. 地域資源を活用した魅力あふれるまち <産業・観光>	2-1	企業誘致・定着の推進	企業誘致・立地維持に向けた基盤や体制が整っています
	2-2	新たな価値を創出する産業基盤づくり	既存事業の拡大や創業・起業にチャレンジしやすい環境が整っています
	2-3	商工業の活性化の支援	中小企業等への支援体制が構築されており、商店街では買い物しやすく活気のある商店が並んでいます。
	2-4	特色を活かした農林業の振興	新たな担い手と共に、収益性や裾野市らしさがある農林業に取り組んでいます
	2-5	地域が潤う観光まちづくりの推進	裾野市の魅力を観光に生かし、裾野市にまた来たい、裾野市を人にすすめたいと感じる人が増えています
	2-6	富士山麓の魅力を活かしたスポーツツーリズムの推進	準高地トレーニングやサイクリング等をはじめとして裾野市を訪れる人や団体が増え、市民がアスリートと交流し、スポーツに親しむ機会が増えています
3. 安全・安心に住み続けられるまち <環境・防災・医療・地域福祉>	3-1	環境に配慮した持続可能な社会の形成	市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たし、環境負荷の少ないまちづくりを実践しています
	3-2	災害に強くしなやかな地域社会の形成	市民の生命と財産が守られ、「自助」「共助」「公助」を高めることにより、誰もが安心して暮らしています
	3-3	安全な生活と交通の確保	行政・地域・関係団体や警察等が連携し、犯罪や交通事故発生件数が減少し、誰もが安心して暮らしています
	3-4	安心して暮らせる地域医療体制の確保	必要なときに安心して受診できる医療機関が整い、市民の健康寿命の延伸につながっています。

後期基本計画(案)

施策の柱	ありたい姿	概要
子育て環境の充実	安心して楽しく子育てをすることができる環境が整っています。	○戦略施策として重点的に再設計(目指す成果が得られるように戦略施策と再構築) ・妊婦健診の受診率は低いものの、健康診査自体はコロナ禍においても受診率を著しく落とさずに行っている。待機児童についても対応が行き届き、「0」を継続できている。「評価委員会」しかし、これらの取組の満足度向上には課題が残る。 ・こども家庭庁から「量より質」の保障が提示され、根本的に子育て支援の方向性が変わっている。(評価委員会) ・子育て親育て支援「策定協議会提案」
次代を担う子どもの教育の推進	多様な人々と関わりながら主体的に考え、未来を切り拓く児童生徒が育っています	
ライフステージに合わせた生涯学習の充実	世代に応じた学習機会の提供により、自ら学習し活躍する市民が増えています	
こころとからだの健康づくりの推進	市民が自身の健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりを実践しています	
スポーツ・歴史・文化・芸術に親しむ環境づくり	市民一人ひとりがスポーツ・歴史・文化・芸術に親しんでいます	
多様性を尊重した共生社会の形成	性別や文化の違いを超え、お互いの人権を尊重することで、市民ひとりひとりがいきいきとしています。	
新規企業の誘致・既存企業の定着と連携による地域振興の推進	多様な業種の産業集積が進み、企業とともに発展しています。	○戦略施策として重点的に再設計(目指す成果が得られるように戦略施策と再構築) ・事業用地の創出は容易にできるものではないが、結果につなげるための制度・運用の整備は継続して必要(評価委員会) ・市民アンケート 市が今後力を入れるべき取組み「企業誘致の推進や定着促進などの産業集積の取組 22.9%」 ・高校生アンケート 市が魅力あるまちになるための必要な取組み「働きたいと思える企業があること 27.5%」
地域産業のイノベーションとリノベーションの促進	既存事業の拡大や創業・起業にチャレンジできる環境が整っています。	○戦略施策として重点的に再設計(目指す成果が得られるように戦略施策と再構築) ・創業件数が少ないため、今後は裾野市を選んでもらう仕掛けが必要(評価委員会) ・市民アンケート 市が今後力を入れるべき取組み「創業・起業しやすい環境整備や、中小起業・商店街の振興 12.8%」
商工業の活性化の支援	中小企業等への支援体制が構築されており商業エリアでは、活気のある店舗が立ち並び、賑わいが創出されています。	
特色を活かした農林業の振興	新たな担い手と共に、収益性や裾野市らしさがある農林業に取り組んでいます	
魅力ある観光地の実現	観光事業者や観光協会と行政が協力し、魅力ある観光資源が創出され、地域に根ざした持続可能な観光地として発展しています。	○戦略施策として重点的に再設計(目指す成果が得られるように戦略施策と再構築) ・観光レクリエーション客数はコロナ禍の影響で目標達成率50%と伸び悩んでいるが、観光レクリエーション客数及び市内宿泊客数のいずれも増加傾向にあり、取組の効果がみられる。「評価委員会」 ・中学生からの提言分析「観光政策・振興に関する意見 1位」 ・市観光戦略策定(R6.11)
富士山麓の魅力を活かしたスポーツツーリズムの推進	スポーツ合宿やスポーツイベントを通じ交流人口が拡大し、地域経済の活性化や認知度アップなどの効果が生まれています。	
環境に配慮した持続可能な社会の形成	市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たし、環境負荷の少ないまちづくりを実践しています	
災害に強く回復力の高い地域社会の形成	市民の生命と財産が守られ、「自助」「共助」「公助」を高めることにより、誰もが安心して暮らしています	
安全な地域生活の確保	行政・地域・関係団体や警察等が連携し、犯罪や交通事故発生件数が減少し、誰もが安心して暮らしています	
安心して暮らせる地域医療体制の確保	必要なときに安心して受診できる医療機関が整い、市民の健康寿命の延伸につながっています。	

前期基本計画

施策の大綱	施策の柱	施策の柱	ありたい姿
	3-5	地域で支え合う福祉の充実	地域での生活支援体制が整っており、誰もが住み慣れた地域で長く住み続けられています
4. 将来を見据えた暮らしや活動を支えるまち <都市・交通・社会基盤>	4-1	次世代型近未来都市の形成	先進技術の活用等により、市民の暮らしがさらに便利になるとともに、事業活動がしやすい環境が整っています。
	4-2	駅周辺等の拠点づくりと多様な世代の交流の促進	駅周辺等の生活サービスや都市施設が充実することにより、多様な世代の交流が促進され、市民が快適に暮らしています
	4-3	良好な景観と良質な住環境の形成	裾野らしさを活かした良好な景観や良質な住環境が形成され、市民が安心して暮らしています
	4-4	誰もが移動しやすい交通環境の整備	誰もが必要なときに安心して出かけられる交通環境が整っており、多くの市民が公共交通を利用しています。
	4-5	利便性の高い道路網の整備・保全	市民をはじめ、裾野市を訪れた人が快適に道路を利用しています
	4-6	豊かで良質な水道水の安定供給	施設運営の健全化により、市民に安全で良質な水が安定的に供給されています
	4-7	衛生的で快適な下水道の整備・保全	健全な下水道事業の経営により、衛生的で快適な環境整備が行われています
5. 時代のニーズに応えられるまち <市民自治・都市経営>	5-1	市民自治によるコミュニティの促進	市民が主体的に地域課題の解決に取り組んでいます
	5-2	すその魅力を高めるシティプロモーションの推進	裾野市の魅力が市内外に広がり、すそのファンが増えています
	5-3	市民サービスの向上を目指すスマート自治体の推進	スマート自治体が形成され、行政手続きが楽になり便利になったと感じる市民が増えています
	5-4	公共施設等マネジメントの推進	公共施設の適正な管理・活用が進んでいます
	5-5	持続可能な行財政運営の推進	健全な財政運営と効率的な行政運営が行われており、公正な賦課徴収事務が執行されています
	5-6	時代の変化に対応できる人材の育成と組織体制の構築	市民ニーズや行政課題に迅速・的確に対応し、職員の信頼度が向上しています
	5-7	開かれた議会運営の支援	議会活動が分かりやすく市民に周知され、議会活動に興味・関心を持つ市民が増えています
	5-8	適正な監査事務の促進	市民、企業、団体等に不利益や損害が被らないように、独立した執行機関である監査委員が、その真実性や妥当性を検証・評価し、市民等にわかりやすく伝えています

後期基本計画(案)

施策の柱	ありたい姿	概要
地域で支え合う福祉の充実	地域の住民や多様な主体が参画し、つながりあうことで、ひとりひとりが安心感と生きがいを持って住み続けられています。	
都市構造と土地利用の戦略的な再構築	市民の暮らしやすさが便利になる 有効な土地利用 が図られるとともに、事業活動がしやすい環境が整っています。	○戦略施策として重点的に再設計(目指す成果が得られるように戦略施策と再構築) ・先進技術を活用した実証実験数(累計)は目標を達成しているが、具体的な内容が分かりにくい ため、具体的な成果が感じられない。(評価委員会) (規制緩和・実証は産業施策2-1ハ)
駅周辺等の拠点づくりと多様な世代の交流の促進	駅周辺等の生活サービスや都市施設が充実することにより、多様な世代の交流が促進され、市民が快適に暮らしています	
良好な景観と良質な住環境の形成	裾野らしさを活かした良好な景観や良質な住環境が形成され、市民が安心して暮らしています	
誰もが移動しやすい交通環境の整備	誰もが必要なときに安心して出かけられる交通環境が整っており、多くの市民が公共交通を利用しています。	
利便性の高い道路網の整備・保全	市民をはじめ、裾野市を訪れた人が安心して快適に道路を利用しています	
豊かで良質な水道水の安定供給	施設運営の健全化により、市民に安全で良質な水が安定的に供給されています	
衛生的で快適な下水道の整備・保全	健全な下水道事業の経営により、衛生的で快適な環境整備が行われています	
市民自治によるコミュニティの促進	市民が主体的にまちづくりに参加し、地域の課題解決に向けて取り組んでいます。	
すその魅力を活用したシティプロモーションの推進	裾野市の魅力や親しみを感じ、関わり続ける人々が、市内外に広がっています	
デジタル技術の活用を前提とした継続的な業務改革による行政サービスの質向上	行政事務の効率化・負荷軽減により、行政サービスの質が向上し、暮らしやすと感じている市民が増えています。	
公共施設等マネジメントの推進	公共施設の適正な管理・活用が進んでいます	
事業効果を最大化する持続可能な行財政運営の推進	健全かつ事業効果を最大とする財政運営と効率的な行政運営が行われており、公正な賦課徴収事務が執行されています	○戦略施策として重点的に再設計(目指す成果が得られるように戦略施策と再構築) ・人と企業に選ばれるまちを実現し、市の税収を上げるため、工夫を凝らした取組が必要である。「評価委員会」 ・財政非常事態宣言の解除(R7.2.13) 「今後の財政見直し」「今後の公共施設等整備更新見直し」を策定し、今後15年間に渡って財政運営の2つの指標(財政調整基金、実質公債費比率)が一定の基準に収まる事が確認できた。 2つの指標を毎年一定の基準に収める仕組みを市の基本的な行財政運営に関する方針として「裾野市行財政運営基本方針」の中に組み入れた。
市民に寄り添い、裾野市を愛するプロフェッショナルな職員の育成と効率的・効果的な組織体制の構築	職員が市民に寄り添い、専門知識を活かして市民を支援することで、市職員への信頼度が向上しています。	
開かれた議会運営の支援	議会活動が分かりやすく市民に周知され、議会活動に興味・関心を持つ市民が増えています	
適正な監査事務の促進	市民、企業、団体等に不利益や損害が被らないように、独立した執行機関である監査委員が、その真実性や妥当性を検証・評価し、市民等にわかりやすく伝えています	